

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 4-3-2		事業名 東西線可動式ホーム柵設置事業	
担当 交通局高速電車部施設課 信太 Tel896-2753			
全 体 計 画			
事 業 内 容	可動式ホーム柵は、列車のドアに連動して開閉するホームドアをホーム先端から約30cmの位置に、高さ130cm(ドア部高さ120cm)で列車全ドア毎にホームドアを設置し、ホームから走行路面への転落および列車との接触事故を防止するため、平成21年3月までに東西線全駅に設置する。		<年度別の事業内容>
			平成19年度 工事の着手 南郷7丁目の中線ホームに先行設置 平成20年度 5月下旬より南郷7丁目の中線ホーム運用開始 9月以降より順次、各駅に設置
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所 ・ 規 模 ・ 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
	平成17年度より検討を行い、平成18年度に実施設計を完了し、平成19年6月に工事に着手した。安全対策として、可動式ホーム柵と車両の間に、お客様の居残りがいないことを検知するセンサーを設けるなどの配慮も十分に行っている。 南郷7丁目の中線ホームには、試験ならびに教習用として活用する目的で、20年3月末に先行設置した。		平成20年9月上旬、新さっぽろ駅から順次設置を開始し、21年3月末までに東西線全駅(19駅)の設置を完了した。
平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
/		/	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-3-2			事業名	東西線可動式ホーム柵設置事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
可動式ホーム柵の設置駅数	—	0駅 (1ホーム)	19駅			19駅 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当無し)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当無し) [人材協力] (該当無し) [情報協力] (該当無し) [その他の協力] (該当無し)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当無し)</p>							
評 価 (成 果)			課 題				
<p>南郷7丁目の中線ホームにホーム柵を先行設置し、施工方法及びお客様に対する安全性の検証結果を基に、東西線全19駅の設置工事を平成20年9月から平成21年3月までの短期間に円滑かつ安全に実施することができた。 また、転落及び列車との接触事故の防止に効果を発揮している。</p>			<p>平成22年度から着手し、平成25年度当初稼働見込みである南北線ホーム柵設置工事にあたっては、東西線での経験を十分に生かし、工事期間中におけるお客様の安全確保に努める。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>平成20年度で東西線可動式ホーム柵設置事業が完了したが、引き続き、南北線(16駅)は平成24年度末までに、東豊線(14駅)は平成29年度末までに設置を予定している。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-3-2			事業名	東西線可動式ホーム柵設置事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	413,600	2,913,400	0	0	3,327,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	57,000	631,000	0	0	688,000				
	市の債	356,600	2,282,400	0	0	2,639,000				
予算	事業費	413,600	2,189,846	0	0	2,603,446				
	財源内訳									
	国・道支出金	57,371	376,670	0	0	434,041				
	市の債	356,229	1,804,794	0	0	2,161,023				
実績	事業費	385,618	2,083,890	0	0	2,469,508				
	財源内訳									
	国・道支出金	48,655	369,844	0	0	418,499				
	市の債	336,963	1,704,925	0	0	2,041,888				
	その他の他	0	9,121	0	0	9,121				
	一般財源	0	0	0	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					74.2%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 計画事業費と予算の差異は工事契約差金による。										
[19年度] 予算・事業内容・規模・時期等ともに計画との差異はない。										
[20年度] 計画事業費と予算の差異は、19年度の工事契約差金による。										
[21年度]										
[22年度]										